

頑張れ九里!

No.33
2011.3

九里学園高等学校部活動後援会報

駆け抜ける! チーム九里!!



祝 スキー近田・大丸・島貫
祝 陸上江口
祝 国民体育大会
祝 陸上浅井・安達
祝 国民体育大会優勝
祝 全日本ユース陸上選手権大会

平成22年度の活動を振り返って

頑張る部活動 vol.6 JRC部・茶道部

●発行／九里学園高等学校部活動後援会

米沢市門東町1-1-72 ☎(0238)22-0091 FAX(0238)22-0092

はばたけ九里



部活動後援会会長

内藤 文徳

昨年末の部活動後援会拡大記念会にはたくさんの皆様にご参加を賜りました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。各部活動保護者会OBの方や旧役員の皆様を中心に、学園を支援して下さい。方々の輪が広がったように思います。また来年度は学園の一一〇周年記念の年となります。学校長を中心に記念事業を計画しております。生徒達の活動もますます活発化するものと期待しているところです。今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。さて、冬季の部活動の方はスキー部が今年も活躍をしてくれました。三年生の大丸芽美選手が東北高校選手権のクロスカントリー5キロフリーで

優勝。インターハイには三名の選手とリレー競技が出場するなどの活躍ぶりでした。また豪雪だったこの冬は、校舎付近の除雪作業を野球部諸君が毎朝手作業で行ってくれました。それにJRC部が中心となり門東町周辺の独居老人宅を訪問し、除雪のボランティアを行っております。このような善行活動もまさに九里学園の校是である「礼、譲」の実践であり部活動の中で人間教育に大変な刺激を与えている有効な手段だと思います。冬期間はなかなか思うように活動が出来ない雪国米沢ですが、先生方が様々な工夫をして部活動を展開しているようです。あと二ヶ月もすると雪解けを迎えま

すが、外の部活動はいよいよ待ちに待ったグラウンドでの活動が始まります。冬場に培った体力ややりたくても出来なかった気持ちを思いっきりぶつけて、全国大会にはばたいてほしいものです。またまもなく新入生も入学してきますので、人数が少なく活動が思うように行かない文化系の部活動等も四月になる前に部員を確保する準備をしておいてください。どの部活動も積極的に活動し、生徒諸君が充実した学校生活を送られることと、「置賜に九里あり」、「山形県に九里あり」と天下に名声を轟かせる時がくるのが楽しみです。

私達部活動後援会は、これからも益々組織を拡大し、すべての生徒活動が全国規模になっても支援ができる準備をしていきますので生徒の皆さん、それを支える保護者の皆さん、顧問の先生方、ぜひ頑張ってくださいと思います。



『絆の団体優勝』おめでとう！

学 校 長

九 里 廣 志



雪の会場に各学校のテントが並ぶ。そこには各学校の応援の旗が並べられ、選手たちが試合前の準備のため慌しく出入りしていた。蔵王で行われたインターハイ県予選でのことである。本校の近田、大丸、島貫の三選手も、朝早くから大会に備えて周到な準備を進めてきた。引率の佐藤貞雄監督は会場の準備指揮も担当していて、到着するや会場のあちこちに指示を出すために走り回っている。選手は早速各々の試合に向けて準備体勢に入る。

生徒が利用する米沢「マイクロカンスキークラブ」のテントに入ってみる。そこにはワックスがけのための機械が備えられ、近田沙稀さんのお父さんの姿が

あった。選手たちのスキーの調整は、彼が行ってくれていたのだ。既に当日の雪の状態に合わせて、何台かの試走用のスキーが準備されていた。選手よりもはるか先に会場に入って、子供たちの試合に向けての準備をしてくださったのだ。何と、コースを整える圧雪車を運転していたのは、島貫なつみさんのお父さんだった。蔵王での県大会でのことである。



近年の運動系の大会会場には、必ず保護者たちの姿

がある。昔は選手の学校の生徒たちが仲間を応援したものが、そのような光景は今ほとんど無くなってしまった。それに代わって「保護者応援団」だ。試合によってはチームの応援のためのユニフォームも作って、声を囁かして声援する。大会会場に送って行き、到着すると自分の子供の出る試合開始まで、車の中でテレビなどを観ながらのんびりと待つ保護者の姿を目にする。チームの保護者のみならず、昼食会さながらの光景も目にする。そんなことに慣れていた私にとって、本校のスキー部の保護者たちの動きは驚きであった。

本校のスキー部の選手はわずかに三名。今年大丸芽美さんが野辺地から転校してきて島貫家に寄宿し、ようやくリレーメンバーがそろった。そんな部だが応援団がたくさんいる。前述したクラブのメンバーたちがそれである。代表が本校の佐藤貞雄



監督、事務局長が卒業生の海老原いく子さん、そしてコーチに近田、島貫の保護者のお二人。そして、クラブの子供たちや保護者のみんな、本場に強烈な応援団である。ただ勝敗に一喜一憂するだけの応援ではなく、日常生活からのコーチングが行われている集団が本校のスキー部なのだ。お母さんたちも雪山をあちこち走りながら、懸命に応援する。

大丸芽美さんが東北大会、5キロフリーで新庄北の安彦のぞみ選手（その後行われたインターハイ10キロフリー優勝者）を迎えて堂々の優勝に輝いた。個人の勝利ではあっても、このチームみんなでむの『絆の団体優勝』だと実感している。

スキー部

最後のインターハイ



三年三組

近田 沙稀

(米沢五)

私は岩手県八幡平市、田山クロスカントリーコースで行われたインターハイに出場してきました。最初の競技は10kmフリーで私はあまり得意ではないので、この日が正念場だと思い頑張りました。前半5kmは二十位で意外という順位でしたが後半で追い込むことが出来ず四十五位でした。クラシカルでは三十七位でした。私は昨年と比べると、技術が身に付き体力もついてきたので、正直に言うと昨年の三十位は上回るだろうなと思っていました。試合中も体の動きはよかったです。ですが私はまだまだでした。私は昨年の自分を上回るような努力をしました。けれど全国にはたくさん速い人達がいるに行くにはそう簡単ではないと、思いました。リレーでは十六位で入賞できませんでしたが三人で頑張れたのでよかったです。最後のインターハイではこれから生かせる事を学べた

のでよかったです。もっと前進できるようにこれからも頑張りたいと思います。

感謝



三年三組

大丸 芽美

(野辺地)

私は、九里学園の名を背負い各大会に出場させて頂けたことに、とても嬉しく感謝しています。

インターハイでは、自分らしい走りが出来ず個人レースである10kmフリー・5kmクラシカル競技で不甲斐ない結果に終わり、とても悔しい思いをしました。レース前は、コンディションが悪くても絶対にレースは捨てたくない！という気持ちが強く心の中にある、今の自分にできるベストを尽くした結果が、今回のインターハイでの成績でした。リレー競技は、みんなで目標にしていた入賞には届かなかったもののチーム全員で頑張れたと思います。一緒に頑張ってきたチームの仲間をはじめ、応援してくれる多くの方々、シーズン中も遠くから支えてくれた皆がいたからこそ今の私があります。言

葉では表しきれない感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

インターハイに出場して



二年四組

島貫なつみ

(米沢三)

私は、女子クラシカル5km、フリー10km、リレー3×5kmの三種目でインターハイに出場してきました。

私にとって昨年は、リレーの補欠で行ったので、試合に出るのは今回が初めてでした。岩手のコースは、前半登りが多いコースでした。個人の二種目は、トップとの差がともあり、まだまだだと思いました。また、もっと練習が必要だと感じました。リレーは、このメンバーで走る最後の大会でした。入賞は出来なかったけれど、先輩達とリレーが出来てとても良かったです。大会は、あつという間に過ぎました。来年は、山形県で開催されます。今回の大会で得た課題に、オフシーズンは取り組み来年につなげていきたいです。最後に、今回応援、サポートして下さい

陸上競技部

国体・ユースに出場して



一年一組

江口 悠貴

(米沢三)

た先生、親、コーチありがとうございます。

昨年、私は国民体育大会と全日本ユース大会に出場してきました。国体では一昨年に引き続きの出場で絶対に勝つという気持ちで試合に挑みました。試合の日は緊張と不安がありましたが、本田コーチや米子先生、原田先生の支えによって自分の思うようなレース展開が出来、優勝する事が出来ました。目標としていた事だったのでとても嬉しく思います。ユース大会は国体が終わって、二週間後にありました。ユース大会は初めての参加で雰囲気他の大会と違って、その雰囲気呑まれてしまいました。試合の前のアップでは思ったように体が動き、走るのが楽しくなるくらいでした。しかし本番で実際に走ってみると体が動かず、準決勝敗退

という不甲斐ない結果で終わってしまいました。この大会では、自分の心の弱さを感じさせられました。

この二つの大会を通して皆さんの事を学びました。今回学んだ事を今年の大会で生かせるように頑張りたいです。

これからも応援、よろしくお願いします。

ラストレース



三年六組

浅井 智佐

(長井北)

千葉国体が、私の高校生活最後の試合でしたので、国体に懸ける思いは強かったです。インターハイの悔しさを忘れず、練習を重ねました。調整は先生方の指導のお陰でうまく進み、自分でもベストが出ると確信が持っていました。試合前日の後輩の活躍が更に気持ちを高めてくれました。試合当日、私の種目は準決勝が無いので、予選が準決勝とも言えます。必ず勝ち抜いて、二試合走る！と何度も心の中で誓いました。たくさんの声援を受けて私は走りました。ゴールには何人かと競って



入りましたが、シーズンベストは出たものの、結果は少しの差で予選敗退でした。もう終わりのなかつと思うと、三年間の陸上に懸けた思いがあふれてきました。「全国で勝負する」という約束は守れました、が、「全国で勝つ」選手にはなれませんでした。あの時の気持ちを忘れずに、大学での競技生活ではそんな選手になれるよう九里陸上で学んだことをいかしたいです。有難うございました。

国体に出場して



一年二組

安達 恭平

(長井北)

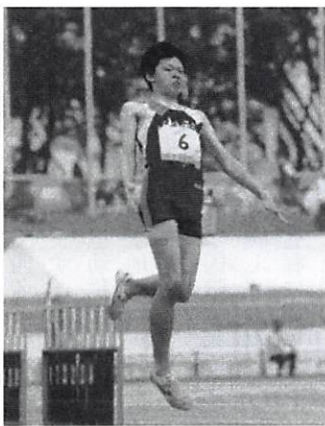
私が今回の国体に出場することが決まったとき大きな不安がありました。それは国体という大きな舞台で自分の

持っている力を出せるかということですね。私は試合になると緊張してしまい、気持ちの面で負けてしまうことがありました。また、右足の太股を痛めてしまい、とても不安で迎えた国体でした。そして国体当日、会場入りしてからはいつもよりいい走りが出てきて、日に日に調子も上がってきて当日の試合では最高のコンディションでもってやる

ことができました。試合では、最後六歩に勢いがなくスピードが出せなかつたし、跳躍のベストではなかつたです。結果は、予選通過は出来ずに終わってしまいました。三本しっかり記録を残せて良かったです。

全国のレベルの大会は、雰囲気も違つて強い選手もたくさんいて、そのなかで、闘えたことはとてもいい経験となり、とても良かったです。

全国的レベルの大会は、雰囲気も違つて強い選手もたくさんいて、そのなかで、闘えたことはとてもいい経験となり、とても良かったです。



努力が実った瞬間



二年一組

相馬 彪士

(川西一)

まさか自分が東北新人で二位になるなんて……。僕はゴールした瞬間、嬉しさと同時に自分が成し遂げたことに少し信じられないという気持ちで放たれた瞬間になりました。

そもそも僕は、中学まで野球をやつていて陸上を本格的に始めたのは高校に進学してからでした。高校で陸上を始めた訳は、中学の時、一〇〇mHで地区大会で一位になり県大会に出場しました。しかし、県大会では不本意な結果に終わり高校でリベンジしたいという気持ちになったからです。

そして現在僕は、東北新人で四〇〇mHで二位に入賞することが出来ました。これも指導者を信じ、ただひたすらに頑張ってきたことが実を結んだのだと思います。努力は絶対に裏切らないということ学びました。しかし、現状に満足することなく、また来年の東北大会で勝ち抜きインターハイに出場するというのが今の目標です。指導者を信じ、最後まで全力で頑張りたいと思います。

部活動

vol.6

JRC部紹介



Junior Red Cross

青少年赤十字の精神「気づき・考え・行動する」



松が岬公園にて芋煮ふるまい

JRC部員紹介

- 一年五組 小川 亜純
- 一年五組 川瀬 結佳
- 一年五組 佐藤 沙紀
- 一年五組 星 叶美
- 一年六組 大亀 志伸
- 一年六組 鈴木 愛理
- 一年六組 高橋 杏菜
- 一年六組 辻 亜貴世
- 一年六組 巻坂 瑞穂
- 二年三組 嶋貫 実春
- 二年四組 佐藤 麻衣
- 二年五組 安藤 瞳
- 二年五組 小杉 美咲



青少年赤十字国際交流
トレーニングセンター

JRC部としての活動を通して

二年五組 安藤 瞳

私たちJRC部は、二年生四名、一年生九名の十三名で活動しています。施設訪問をしたり、週二回付属の九里幼稚園を訪問したり、土日には募金活動や地域のボランティア活動に参加しています。

また、今年も青少年赤十字国際交流で、韓国のJRCメンバーと交流しました。九里祭では、生徒と保護者の皆様にご協力をいただき、バザーを行いました。ここ二年間は鈴木精先生が海外青年協力隊に行かれたアフリカのザンビアへ収益金を送ることができました。無事にザンビアに届き、喜んでいただいたと報告を受けています。この交流をずっと続けていけたらいいと思っています。

この一年間を振り返り、JRC活動を通して、「ありがとう」と言っていたいただいたの達成感を味わうことができ、とてもやりがいを感じます。これからも一つひとつの活動を大切にして、頑張っていきたいと思っています。

顧問から

「人とこの出会い・思いやりの心・・・」

九里学園JRCは、青少年赤十字加盟継続四十六年目を迎えました。米沢女子高校時代から長い歴史を持ち、先輩方が活動されてきました。

青少年赤十字の実践目標は、「奉仕」―「健康・安全」―「国際理解」を柱に掲げています。この赤十字の精神のもと、自分たちができることを自らが考え、人のために何ができるか、その気持ちを大切にしながら、活動しています。

最近、ボランティア活動を中心にして地域のみなさまとともに活動する機会が増え、沢山の方との出会いがあり、笑顔をいただきまた次の活動の原動力となっています。

とても地道な活動で輝かしい脚光を浴びることはできませんが、部員が一生懸命、誠実に活動している姿は本当に褒めてあげたいと思っています。これからも思いやりの心を大切にし、一人ひとりの成長を期待しています。

顧問 長谷川和美



除雪ボランティア

茶道部紹介



がんばる

ただひたすらに、ひたすらに……



三年 部長 保坂 美里

三年間、茶道部の活動でやったことは、お点前の習得です。一年生の時はお道具の名や手順を一生懸命覚え、一つ一つの所作に気をつけながらやってきました。二・三年生では本格的にお点前を練習し、完璧に身につけたお点前を、九里祭の呈茶席や外国から来られた生徒の方々に披露し、お茶を飲んでいただきました。他にも高総文化祭のお茶会に三度参加し、それぞれ印象的な体験をしました。

三年 倉 歩美

三年間茶道部で活動してきて学んだことは、礼儀作法と言葉遣いです。また、九里祭ではたくさんのお客様が来てくださって、お茶を通して皆さんと交流ができたと思います。

三年 伊藤 瑞姫

三年間の茶道部で学んだことは、道具を覚え、お点前を覚えたことです。一年の時は間違えも多くありましたが、続けてやっていく間にだんだん覚えられるようになりまし。二年になると最初は不安でしたが、先輩にもお点前を教えられるようになりまし。今まで一生懸命取り組んできたことに満足していま

Q 茶道部入部の動機は

茶道の経験があったから入部した。

中学のとき九里祭に行ってお点前を見てやってみたいと思った。

オープンスクールの時に、茶道部を体験して、この部活なら三年間やっていけると思った。

茶道に興味があったし、礼儀作法を覚えたいかった。

Q この一年間の活動で楽しかったことは何か。

高等学校総合文化祭に参加したことで、毎日の活動が一番楽しかった。部員の中で悩んだり、ギクシャクしたりしたこともあったが、何とかみんなやってきた。今年度の活動全てが今の部活につながっていると思う。これからは全員で楽しくやっていきたい。

Q 九里祭で呈茶席をやった感想

茶席でお点前を披露するということ、とても緊張感を持って取り組んだイベントでした。

初めて何をしたら良いかわからないことがたくさんあったが、先輩を見ながらやれたし、楽しかった。

お客様の前でのお点前は初めてだったので、緊張してしまっって完璧にはできなかった。

緊張でお点前を間違えてしまったが、お客様から「ありがとう」「おいしかった」という言葉を頂いてうれしかった。

初めてで戸惑うこともあったが、先輩たちと楽しくできました。

言葉でなく、お点前でお客

Q 茶道部入部の動機は

様をおもてなしすることの大変さを学んだ。また、自分の足りないところも見つけられた。

Q 高等学校総合文化祭に参加して感じたこと。

他校の茶道部と交流ができて楽しかった。毎年楽しみにしている。

お点前がとてもしっかりい、すごいと思った。お茶もお菓子もおおいしかった。

表千家と裏千家のお点前は違うので、勉強になることがあった。

いつもと違う雰囲気緊張した。

Q 来年度、茶道部としてしてみたいこと。

合宿(ほぼ全員) みんなで共同生活をしてお互い高めたい。

部員同士語りながら合宿生活を楽しみたい。

まだ完全でないお点前を覚え、親睦も深めたい。

お茶とは何かを語り合いたい。

部員をもっと増やすこと。

Q 個人の目標

お点前を完璧にマスターすること(全員)

九里祭できれいなお点前を立礼のお点前もできるようにしたい。

Q おいしいか

たくさん(多数) 九里祭で使ったお菓子(菓子)

福笑い

時雨の松



顧問から

今年の茶道部は、今まで以上に前習得に部員全員が取り組んできました。特に二年生は人数も多く、良い意味でお互いが競い合っって作法向上に努めてきたように思います。三年生も後輩指導の役目があり、油断はできず必死でした。

週三日間の活動内容は実に平凡で、淡々と繰り返していく活動です。しかし、部員には九里祭の呈茶席で今までの成果を発表するという大きな目標があるので、個々のお点前習得はもちろん、みんな協力し合っって茶会を作りあげることが大事なこと。少しのミスはあっても、浴衣を着た生徒達は楽しそうに動いていました。茶会が終わった後の片付けは見事という他ありません。一斉にあっという間に終わってしまったのは毎年のことで、もしかしたらこれが茶道部の伝統になっているかもしれない。畳を二枚背負う位はヘッチャラです。

来年度は新入生をどうにか増やしたいと部員たちは頑張っています。チームワークのよい二年生のこと、部員勧誘に向けて今からどんな秘策を考えているか楽しみです。

顧問 町田 悦子

各部の奮闘!!

活動を振り返って

男子陸上競技部

陸上漬け



三年一組
遠藤 諒人
(米沢五)

私は二年次の秋以降、陸上漬けの一年を送ってきました。とてもキツかった冬期練習も部の明るさが背中を押し、こなすことが出来ました。シーズンに入るとなかなかタイムが伸びず、ここまで頑張ってきたのに何故タイムは伸びないのだろうと、とてつもなく苦しい時期が続きました。ですが、そんな私を押ししてくれたのは、仲間であり先生方であり保護者の方々でした。そのかいもあって沖縄インターハイでも準決勝に進むことが出来、決勝には行けませんでしたが、良い引退を迎えることが出来たと思います。

引退して思うのは、やはり多くの方に支えられてきたという事です。人間的にも成長させてくださった先生方、キツイ練習を共に取り組み、一番に応援してくれた仲間、各大会応援に駆けつけて下さった保護者の方々に感謝の気持ちであふれています。

本当にありがとうございました。

女子陸上競技部

三十四年連続インターハイ出場



三年三組
遠藤紗耶香
(米沢三)

三十四年連続インターハイ出場、それが九里陸上の目標の一つでした。陸上のインターハイは県大会を勝ち抜き東北大会で六位もしくは三位以内に入らなければ出場することができない狭き門なのです。伝統を守る為、必死で練習に取り組みました。九里の練習は厳しいのですが、部員一人一人の意欲が高いので辛くても頑張ることが出来ました。結果として三名のインターハイ出場が決まり、伝統を守ることが出来ました。インターハイでの決勝進出はなりませんでしたが、一年生の江口の国体での活躍は九里陸上にとって大きなものとなりました、三年生の多くが引退した今、後輩達には新たな伝統を作って欲しいと思います。九里陸上で学び得たものは計り知れない程あります。この経験をいかし、これからの進路につなげていきたいと思いたす。最後に三年間ご指導して頂いた本田コーチ、先生方、応援して下さいました方々本当にありがとうございました。

野球部

人生最後の高校野球



三年一組
高橋 呈佑
(高嶋三)

九里学園硬式野球部に入学して、時が流れるのも早くあつという間に人生最後の高校野球の年になり、私たちが十二人の三年生部員達は、夏の大会に向けて日々練習してきました。

なかなかチームの勝ちパターンを見つけれず、調子の上がらない選手も中にはいました。私自身も春に怪我をしてしまい、完治せず、大会前に満足に練習試合にも出ませんでした。

「チームの状態が良くない」、「でも自分は試合に出れない」そんな状況がしばらく続き、「これで夏の大会勝てるのか」、「どうしたらチームの状態は上がるのか」悩みました。しかし、三年が「このままではまずい」という気持ちを爆発させ、徐々に調子は上向きになっていきました。

私一人の力では何もできませんでしたが、今まで共に練習してきた仲間のお陰で夏の大会を戦うことができました。これからの仲間を大切に、一生の宝としたいと思います。

男子卓球部

一年間を振り返って



金子 駿人
三年一組
(川西一)

私にとってこの一年間がとても思い出に残りました。最後の高体連まで残り五ヶ月、そして色々な大会が最後になっていきました。小さな大会でも大切な大会だったと今は思います。

最後の高体連で私は良い結果を残せなかったけど、団体三位というチーム一丸となって勝ち取った賞状は良い思い出です。

部活を引退して受験勉強やらなければいけなく、部活にあまり出なくなりました。でも、部活を見にいけば後輩達は頑張っていて、とても成長してました。そんな後輩達の姿を勉強の励みにしていたことも良い思い出です。これからも後輩達には頑張ってもらいます。

女子卓球部

一年間を振り返って



宮本 萌詩
三年三組
(飯 豊)

四月に一年生を迎え十六人でのスタートを切りました。六月の地区大会に向け一人一人が目標を持ち日々の練習に一生懸命励みました。その結果地区大会では他校を圧倒し団体戦優勝・ダブルス・シングルス共に一位・三位まで独占し、表彰台を九里でうめ他校を席巻しました。しかし県大会へ進むとレベルの高い技術を持った人がたくさんおりあまり良い結果を出す事が出来ませんでした。

県大会・東北大会に向けてまずお互いの気持ちを尊敬し合い団体戦ではチーム全員一丸となってお互いを励まし応援し、一戦一戦勝ち進んでいく事が大切だと思います。そしてシングルスではお互いライバルになりうる事があるので、毎日の練習ではお互いライバル意識を持ち、仲間と共に切磋琢磨し合いながら練習し努力していく事で、勝利への道が開かれると思います。県制覇・東北大会出場に向け日々頑張っています。

男子バスケットボール部

感謝



青木 博則
三年一組
(沖 郷)

今は、部員がベンチに入らないくらい、いますが、新チームになり立てのころは七人という少ない人数で活動をしていました。これまでも五人にみたくに活動しているときもあり部活にならないときもありました。

しかし、どのような状況でも全力で練習をしたことで地区大会で勝てるようになり、新入生が多く入りチームの雰囲気が変わりました。

そして、県ベスト8を目標に努力を惜しまずに練習をしました。結果は五点差で県初戦敗退でしたが強豪相手に最後まであきらめず挑めてとても良かったです。

この三年間は私にとっても充実したものになりました。

最後に一、二年生のみなさん富樫先生の言うことをちゃんと聞けば必ず県上位に入れると思うので頑張ってください。指導して下さい富樫先生を始め、支えて協力して下さい方々、本当にありがとうございます。

女子バスケットボール部

続けて、得た



佐藤 成美
三年三組
(米沢五)

高校三年の部活動は今までで一番熱くなれました！今までで一番思い出深いものになりました！

小学校六年生とも、中学校三年生ともまた違う高校三年生。これはきつと三年間部活動をやり続けた人にしか味わえないものでしょう。

私は、小学校一年生からバスケットボールを始め、進学先でもバスケットボールを追い続けたいと思っています。私にとって、バスケットボールとは何なのかと言う答えを見つけた事ができた一年間でもありました。私を支えてくれた方々、ついてきてくれた仲間、信じてくれた先生方に感謝の気持ちをもち、私は新たなスタートを切ります。



男子バドミントン部

たくさんの支え



三年一組 佐藤 匠 (漆 山)

私がバドミントンを続けてこれたのは毎日遠い場所から駅まで迎えに来てくれる親、熱心にいつも少ない時間ながらバドミントンを教えて下さるユキエ先生、皆川コーチ、手塚さん、中山先生そして同じ勝利を目標に共に練習してきた仲間のおかげです。他にもたくさんの方に応援してもらいました。私は、はっきり言って部長らしいことは何もしていないように感じます。それでも何も反抗せずついてきてくれた仲間には感謝したいです。私は大学に行ってもバドミントンは続けるか分かりませんが。これから先も自分らしくがんばっていかねばいいと思います。

女子バドミントン部

一年を振り返る



三年六組 黒坂 里恵 (米沢二)

私はこの一年間を振り返ると全力で部活に一生懸命取り組んだ一年でした。私達は同じ目標を持って取り組んで来ました。部員の人数は少ないですが、きつい練習や夜練などをやってこれたのは皆が同じ目標を持って、一人一人が強くなりたいという気持ちがあったからです。そして、技術的に上達できたのは指導して下さる先生方とコーチはもちろん、地域の方も私達の相手をして下さったからです。また、部活を通して引退してから礼儀などの人間性も磨かれました。

私達は恵まれていたと感じ、その中で部活をすることができたことに感謝しています。



サッカー部

一年間を振り返って



三年一組 遠藤 拓也 (米沢一)

サッカー部は今年一年間、あいさつなどをしっかりするということに力を入れて活動してきました。部活中にサッカー関係者の方、市民の人にあいさつすることによって、今までのチームを変えていこうと思ったからです。その結果、去年は勝てなかったチームにも少しずつ勝てるようになりました。やはり、神様は見えてくれたんだなあと思いました。

今年もあいさつ活動を続けてもらい、高体連で良い結果が残せるようにがんばってほしいと思います。



バレーボール部

部活動を通して：



三年三組 篠沢 美茄 (川西一)

三年間の部活動の中で、私は様々な事を学ぶ事ができました。部員が少ない中、毎日練習してきました。喧嘩もたくさんしたし、何度も対立したけど最後はチーム一丸となってまとまる事ができて良かったです。チームの仲間達と一つの目標に向かい、一生懸命練習する事でチーム同士のキズナを作る事ができました。何度も、部活をやめようとしたけど最後までやり続けて本当に良かったです。諦めずにやり通せたのは、チームの仲間、コーチ、先生方のおかげです。私は皆に感謝したいと思います。本当にありがとうございます。

これからのバレー部の皆にも、ねばり強く頑張ってほしいです。辛い事も楽しい事も全部いい経験になると思います。人数は少ないけど皆の元気と笑顔で頑張ってほしいと思います。そして、今までにないチームを作ってほしいと思います。

ソフトボール部

ピンチはチャンス



三年五組
神田ちづる
(南原)

この一年間を振り返り私自身が思ったことは、ピンチはチャンス。という言葉があるということ。ピンチの後には必ずチャンスがあるということ。信じ、次へ次へと気持ちを進めることが出来ましたし、一つの勝利へ向かい仲間と立ち向かうことも出来たと思います。

勝った時の喜びもあれば、たくさんの悔しさもあります。他にも仲間とぶつかり合った時や怪我をした時の辛さもあります。部活を通して多くの感情を抱き、多くの考えを持ちました。それでも部活動を一言で表すならば、楽しかった。という言葉しか出てきません。それぐらい私にとって仲間やソフトボールは大きな存在でした。いつも熱心にご指導いただいた先生方、頼りない私についてきてくれたチームメイト、本当にありがとうございます。後輩の皆さん、ピンチはチャンスという言葉を信じ頑張ってください。活躍を期待しています。最後に関わって頂いた多くの方々、本当にありがとうございます。

男子テニス部

振り返って



三年一組
永井 達也
(南原)

部活に入っていたら、部活をする前提でいたいの日を生活してきました。土日などはコーチの方にも部活前提で生活していただいたのだと思います。そんなことは、私が委員会の当番をしているときに「今日は部活はないのかい。」と先生に聞かれることから感じられました。先生は部活を大切にす

人だったのだと思います。私の場合は、ただなんとなくしていったところがありました。部長になったから毎日こよう。くらいの気持ちでした。だから、部活動でなくても来てくださるコーチ、それに先輩方がうらやましかったのだと思います。そんなことを考えてからの部活の時間は短かったのですが後輩達には長く充実した部活をしてもらいたいと思います。



女子テニス部

テニスを通して



三年五組
高山 友花
(南原)

私はテニスを通して、学校生活ではできない経験や体験、また部活をやっていたからこそ学べたことがたくさんありました。

練習では辛い練習をこなすことでメンタル面が強くなり、大会では最後まで諦めないねばり強さと集中力を身につけることができました。また部長という立場になってからもどうやって部をまとめるといいかなど勉強になったことがたくさんありました。

テニスを通してたくさんのご縁を得ることができました。私はテニス部へ入部してよかったと思います。



弓道部

一年を振り返って



三年六組
雪野翔太郎
(米沢六)

私は、三年間弓道部に所属していました。その三年間は、私にとって貴重なものになりました。その中でも、この一年で気付いたことは、仲間の大切さです。日々の練習では、互いのコミュニケーションの必要性を感じました。部員一人一人が意志疎通が出来なければ、大会で結果を残すことは出来ません。私たちは、それが欠けていたかもしれません。しかし、私たちは仲間の大切さを知り、大きく成長できたと思います。

そして、私はこれからの弓道部には仲間の重要性に気付いて、さらに向上してもらいたいと思います。



体操部

高校体操部の三年間



三年四組

本田 桂

(米沢二)

中学から継続して入った器械体操部は中学生との共同練習でがんばりました。

高校生として初めての地区や新人戦に出た時、高度な技をする演技を見て私は、それからの練習に力を入れ、工夫して頑張ってきました。時には人間関係で悩み、練習に身が入らない時期もあったけど、その中でも頑張ってきたから今の自分があるのだと思います。



水泳部

一年間を振り返って



三年六組

鈴木 悠希

(米沢二)

今年の水泳活動は一、二年の時とは違う一年間でした。高校では初めて後輩ができ、一緒に県大会まで出場することができました。成績は、東北大会出場という結果でベストを出すことはできませんでしたが、決勝に進出することは一つの節目として、とても充実した日々を送ることができたと思います。家族やコーチ、顧問の先生には大変お世話になりました。私は大学へ行っても水泳を続けるつもりです。新天地での活動に不安が多々ありますが、それ以上にこれからどう過ごしていくか、とても楽しみです。これまで出会ってきた水泳連盟の方や仲間感謝しつつ、頑張っていきたいと思います。

今年一年は、新たに踏み出すためのとても大事な一年でした。

スキー部

一年間を振り返って



三年三組

近田 沙稀

(米沢五)

この一年は沢山の事を経験できた年となりました。二人だった部員が新しく一人増え、三人となりました。またリレーができるようになり、個人ではもちろんの事、リレーでも県高校やインターハイでの入賞を目標に掲げて夏のトレーニングに励んできました。昨年は記録的な猛暑が続き、夏場の練習や合宿も楽ではないものでしたが冬に勝つため頑張ってきました。その中で陸上部と駅伝の練習ができた事はスキー部の新たな挑戦としてとても良い経験となりました。

東北大会では個人種目のフリー競技で大丸が優勝し、リレー競技では六位入賞することができました。インターハイでは個人でもリレーでも入賞できませんでしたが、みんなその時の持っている力を出して頑張ったと思います。私たちスキー部のために応援にかけつけてくださったみなさんありがとうございました。

茶道部

茶道部を通して



三年三組

保坂 美里

(米沢五)

三年間茶道部を通して一番の思い出に残っている事は九里祭での呈茶席です。

一年生から先輩方のお点前の練習姿や、席入りの仕方などを良く見て学習し、先輩方や先生方に教えられ覚えられるようになりました。二年生ではただ覚えるだけではなく、体にしみるように、自然にお点前ができるように練習してきました。三年生では、覚えてきたこと、姿勢などを完璧にする為にお点前を繰り返し練習してきました。本番の呈茶席では、繰り返し練習してきた事も発揮でき、道具の使う順番を間違える事もなくなりました。お点前が終わった後も、部員と協力して、お客様の状況を見てお茶はこびや、お菓子運びなどもスムーズに進行することができ成功できた事は、私にとって大切な一番の思い出です。

吹奏楽部

充実した日々



三年三組
高橋 幸
(米沢五)

三年生最後の年は充実して、あっという間に過ぎていった年でした。

部員全員で十九人という少ない人数でしたが、一人一人が自分の役割を考え、行動することでここまでこれたのだと思います。今年の夏の大会では、県大会に出場することができ、ゴールド金賞をいただくことができました。このことはみんなで協力したり、支え合うことを大切にしたことで出来たと思います。

また、最後の九里祭では先生達に協力してもらい多くの人達に楽しんでもらうことができて良かったと思います。これからも後輩達にはぜひ頑張っつて充実した部活動をしてもらいたいです。

書道部

団結できた一年間



三年二組
鈴木 克典
(高島三)

今年一年間を振り返って、書道部は団結できた一年だったと思います。特に書道部は中でも今年は、二つの行事に力を入れて取り組んできました。

一つ目は、九里祭です。書道部は毎年九里祭で、書道吟を披露しています。今年も、僕が一人で書き、一年生は道具の準備をしてくれました。書き終えた時は、なんだか僕一人で書いたのではなく、書道部全員で書いたような気になりました。

二つ目は、高文祭です。高文祭に出品する作品は、夏休み学校にきて、よい作品に仕上げるために精一杯練習しました。残念ながら賞には入りませんでした。練習しながら賞には入りませんでした。練習したことは無駄にはならないと思うので、一年生には、高文祭で得たことを生かしてこれから頑張っつてほしいと思います。

僕は、三年間書道部でよかったと胸を張っつて言えます。今まで様々な面でお世話になっ皆様、本当にありがとうございます。

ダンス部

hop step jump up



三年四組
瀧澤 千鶴
(米沢四)

私たちは、この一年間「Hop step jump up」というテーマで活動してきました。今年で部となつてから四年となりダンス部としてこれからもっと上のレベルを目指すためにこのテーマを掲げ、毎日の練習に励みました。その毎日の練習の中で、苦戦した時もありましたが、部員全員で乗り越えることが出来ました。

また今年で二回目の出場となった、「全国オールジャパンダンスフェスティバル in 神戸」に参加する際には、後援会の方々から補助金という形で応援を頂き、とても励みになりました。ありがとうございます。結果は予選突破はなりませんでしたが、また新たな課題を発見することが出来たので、今後に生かしていきたいと思ひます。

新聞部

振り返って



三年五組
高山 友花
(南 原)

私が新聞部の活動として一番思い出に残っているのは、新聞の発行です。先輩から部活を引き継ぎ、新聞をつくることの大変さを改めて実感しました。その時々にあつたような記事を考えて、全校生が読んでくれるような工夫、記事を読みたくなるような見出しを考えたりと、その他にも様々な工夫をしたりと部員全員が一塊となり新聞作成を行いました。

研修会では、他の学校がどのような活動を行っているか知ることが出来る、新聞をどのように作っているか分かることが出来ました。新聞部に入り、様々な活動をするのが出来て楽しかったです。

JRC部

活動を振り返って



二年五組
安藤 瞳
(高島一)

JRCの一年間の活動を振り返って、一昨年は二年生四人だけの部活でしたが去年から新入部員が増え、より一層活動内容が深まり充実した部活動にすることが出来ました。

例えば、夏の合宿で他校との交流や国際交流など、さまざまなふれ合いを通して人間として成長することが出来ました。

また、赤十字や救急法について学びJRC部としてふさわしい人材を目指すことが出来ました。

今までの部活動を学びましたが、一番勉強になったことは、人に親切にすることの大切さなどです。

これからの活動でも地域活動などでも、この経験を生かして頑張りたいと思います。

演劇部

一年の活動を終えて



三年三組
島貫 裕子
(川西二)

今年度の活動は演劇部にとっても実りの多いものでした。春の定期演奏では、「奇蹟の人」という大作に挑み上演し悪戦苦闘しながらも作り上げることが出来ました。今まで九里演劇部

にない新境地を発見することが出来、また七月に行われた置賜地区演劇合同発表会では、生徒創作「晴れだつて雨だつて」を上演し、優秀賞を頂き悲願

だった県大会に出場することが出来ました。これも今まで支えてくださった沢山の方々のおかげだと思います。本

当にありがとうございます。またこれから、演劇部は日々頑張っています。

てほしいと思います。

文芸部

文芸部の活動を通して



一年六組
若林 佳奈
(川西二)

今年一年間、文芸部では小説や詩を書くなどしてきました。中でも、山形県高等学校総合文化祭への参加は、私にとっても、部員一人一人にとっても大きな力になったと思います。

山形県高等学校総合文化祭では、自分が書いた小説又は詩を互いに読み合ったり、各学校の活動内容の紹介をしたりしました。私は小説部門でさまざまな作品を読んできました。同年代

の人達が書く小説といつても、その表現は様々で驚かされました。自分に無いものを多く吸収する事が出来、中身の濃い交流だったと思います。

今年度は、他校の文芸部の方々との交流やテーマに基づいた小説や詩の作成で、各部員の表現力や想像力を上げる事が出来たと思います。来年度の文芸部でも、さらなる自分自身の向上を目指し、部員一人一人努力していきます。

す。

生活科学部

部長として！



三年四組
阿部 千智
(南原)

私は生活科学部部長として一年間部活動に取り組んできました。最初の頃の部活は雰囲気は暗く、部員とのコミュニケーションの無い部活でした。

なのでもっとコミュニケーションを取らなければいけないなと思ったりしたのですが、逆に空回りしてしまったりしたら良いか悩んだりする時があったりしました。でもそんな時、先生や周りの友達のアドバイスを受け、もっと先輩後輩とのふれ合う場をもうける事を増やしたりして話す機会を多くしたりしました。

お陰で前より明るく活発な部活動になりました。

私は部長としてはまだまだでしたが、部員の皆や先生の支えがあり、ここま

で成長することができました。ありがとうございました。

PC 愛好会

二年目の苦節



三年一組

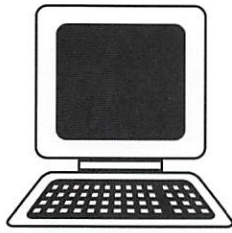
皆川 賢太

(高島一)

私はパソコン部の部長はしていたものの一年生の時からパソコン部だった訳ではありませんでした。二年の時入部してほんの少しの時間三年生と部活をし、あつと言う間に私は部長と言う名をもらってしまいました。

私は部長としての立ち回りがまったく分らず顧問の先生や同じ三年生の友人に助けってもらいながら少しずつ部長としての立ち回りが分っていき、しっかりと部をリードすることが出来たと思います。

今まで私を支えてくださった先生本当にありがとうございます。



イラスト・アニメ愛好会

一年間を振り返り



二年四組

西山 佳歩

(川西一)

イラストアニメ愛好会は今年も多く一年生の入部があり、活動はより活発的になりました。活動は主にテーマにそったイラストを制作することです。二週間に一つ、先生からテーマをもらい部員それぞれがイラストを一枚仕上げることです。仕上げたイラストは部屋である国語Bの壁に貼り、ギャラリーとして各々のイラストを飾りました。最初は「描けない」と弱音を吐いていた一年生も今では画力を上げてよい良いイラストを描けるまで成長しました。夏休みにはイラストアニメ愛好会主催で文芸・新聞と合同で宮城へ行き、松島や仙台を訪れ、素晴らしい景色と文化に触れることでより自分の世界観を広げることができたと思います。

九里祭ではパネルを準備して部員全員の描いたイラストをギャラリーに飾ったところ、来てくださった方々から好評で部員はとても喜んでいました。まだ部活としては未熟な部ではありますが、来年度も部員全員で実力を伸ばして部活をより良い部にしたいです。

九里祭ではパネルを準備して部員全員の描いたイラストをギャラリーに飾ったところ、来てくださった方々から好評で部員はとても喜んでいました。まだ部活としては未熟な部ではありますが、来年度も部員全員で実力を伸ばして部活をより良い部にしたいです。

『チームKUNORR』としての意識を！

生徒会主催

運動部トレーニング講習会 開催！！

講師 (株)クレーマージャパン

原 康弘氏
長 井 一氏

新生部活動後援会の発足と、創立一〇周年にあたり、運動部を盛り上げよう！という実現に向けて、生徒会主催で運動部合同トレーニング講習会が一月二十六日に開催された。この講習会の趣旨は運動部全員で同じ取り組みをし、顧問、生徒のやる気をたかめ『チームKUNORR』としての意識の向上と、来年度からの活躍へのきっかけ作りである。

日本のSAQトレーニングのバイオニアであるクレーマージャパンの講習のもと、約二時間半充実の内容で講習会が行われた。総勢二百名が体の使い方を軸にミニハードルやラダーを利用しトレーニングを学んだ。これをきっかけに、もっと運動部が盛り上がりを見せることに期待したい。



体育系部活動

陸上競技部	国民体育大会 平成22年10月1日～5日【千葉県総合スポーツセンター陸上競技場】
	男子少年B110mH 決勝優勝 江口 悠貴(1年 米沢三) 14秒04 (+2・5m) 準決14秒13 (+0・6) 大会新
	女子少年A100mH 予選4位 浅井 智佐(3年 長井北) 14秒25 (+0・6) 全体の10位
	男子少年B走幅跳 予選 安達 恭平(1年 長井北) 6m34 (+0・5) B組14位
	成年男子 走幅跳 決勝 22位 原田 隆弘(教員) 7m29cm (+1・0) 自己新
	全日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会(愛知) 平成22年10月15日
	ユース110mH 江口 悠貴(1年 米沢三) 予選3位 14秒44 準決勝8位14秒98
	東北高等学校新人陸上競技選手権大会(青森) 平成22年9月25日～27日
	男子110mH 決勝優勝 江口 悠貴(1年 米沢三) 14秒94 (+0・0)
	予選5位 相馬 彪土(2年 川西一) 16秒49 (+0・0)
	男子400mH 決勝2位 相馬 彪土(2年 川西一) 55秒51(自己新)
	男子400mR 予選7位 長谷川 涼(2年) 鳥貫 大貴(2年) 芳賀 優亮(1年) 江口 悠貴(1年) 44秒69
	男子1600mR 予選4位 高橋 尚展(1年) 相馬 彪土(2年) 江口 悠貴(1年) 鳥貫 大貴(2年) 3分24秒99(チーム新)
	男子走幅跳 決勝18位 芳賀 優亮(1年 米沢一) 5m96(+0・9)
	男子砲丸投 決勝3位 金子 堯宙(2年 高島一) 14m23(自己新)
	男子円盤投 決勝4位 金子 堯宙(2年 高島一) 39m48
	女子800m 予選6位 長谷川智子(2年 白鷹東) 2分20秒76(自己新)
	女子1500m 決勝4位 高橋 七海(1年 長井南) 4分37秒14
	決勝9位 山口美里樹(2年 米沢四) 4分50秒17 予選6位 4分48秒22
	女子3000m 決勝7位 高橋 七海(1年 長井南) 9分58秒66
	女子100mH 予選8位 高梨 千明(1年 赤湯) 19秒61(途中転倒)
	女子400mH 予選8位 遠藤 翠(2年 長井南) 1分09秒26
	山形県高等学校新人陸上競技大会 平成22年9月9日～11日【小真木原陸上競技場】
	男子100m 予選1位 江口 悠貴(1年 米沢三) 11秒68(+1・6) 全体の9位
	予選2位 芳賀 優亮(1年 米沢一) 11秒74(+0・7)
	予選3位 長谷川 涼(2年 川西一) 11秒78(+0・6)
	男子200m 予選3位 高橋 尚展(1年 米沢四) 24秒01(-2・8)
	予選4位 我妻 誉浩(1年 米沢一) 24秒28(-1・5)
	予選3位 長谷川 涼(2年 川西一) 24秒38(-0・9)
	男子400m 決勝5位 鳥貫 大貴(2年 高島三) 51秒08(4位と同記録) 予選51秒07
	予選3位 高橋 尚展(1年 米沢二) 52秒47
	男子800m 予選4位 鳥貫 大貴(2年 高島三) 2分02秒66
	予選5位 菅井 大地(1年 米沢一) 2分04秒44
	予選2位 安部 斗夢(1年 小国) 2分04秒62
	男子1500m 決勝12位 安部 斗夢(1年 小国) 4分21秒78 予選3位 4分13秒99
	男子5000m 決勝14位 高橋 郁人(2年 南原) 16分20秒53
	男子110mH 決勝1位 江口 悠貴(1年 米沢三) 15秒26(-1・0)
	決勝4位 相馬 彪土(2年 川西一) 16秒46(-1・0)
	男子400mH 決勝1位 相馬 彪土(2年 川西一) 56秒85
	男子3000mSC 決勝23位 高橋 椋(1年 米沢四) 10分55秒33
	男子4×100mR 決勝3位(長谷川・鳥貫・芳賀・江口) 43秒99 予選43秒86
	男子4×400mR 決勝2位(高橋・相馬・江口・鳥貫) 3分26秒09
	男子走幅跳 決勝3位 芳賀 優亮(1年 米沢一) 6m30(+1・9)
	棄権 安達 恭平(1年 長井北) 1本のみ試技 5m69
	男子3段跳 棄権 安達 恭平(1年 長井北)
	男子砲丸投 決勝1位 金子 堯宙(2年 高島一) 13m85
	予選21位 佐藤 俊介(1年 高島一) 8m32
	男子円盤投 決勝1位 金子 堯宙(2年 高島一) 38m87
	予選11位 佐藤 俊介(1年 高島一) 23m18
	男子混成競技(8種競技) 決勝4位(3934点) 板垣 善博(1年 米沢三)
	女子100m 予選2位 佐藤 愛(2年 米沢六) 13秒32(-1・6)
	予選6位 外山 佳奈(2年 米沢五) 13秒99(+0・2)
	女子200m 予選2位 佐藤 愛(2年 米沢六) 27秒65(-1・3)
	予選4位 外山 佳奈(2年 米沢五) 28秒40(-1・9)
	女子400m 決勝6位 長谷川智子(2年 白鷹東) 62秒17 予選62秒07
	女子800m 決勝5位 長谷川智子(2年 白鷹東) 2分24秒47
	女子1500m 決勝2位 高橋 七海(1年 長井南) 4分36秒63(自己新・大会新)
	決勝7位 山口美里樹(2年 米沢四) 4分46秒82
	女子3000m 決勝1位 高橋 七海(1年 長井南) 9分53秒13(自己新)

陸上競技部	決勝8位 山口美里樹 (2年 米沢四) 10分29秒99
女子100mH	決勝2位 高梨 千明 (1年 赤湯) 16秒96 (-1.7) 予選6位 遠藤 翠 (2年 長井南) 19秒48 (-3.9)
女子400mH	決勝4位 遠藤 翠 (2年 長井南) 69秒22
女子4×100mR	予選3位 (外山・長谷川・高梨・佐藤) 52秒05
女子4×400mR	決勝6位 (佐藤・高橋・山口・長谷川) 4分13秒86 予選4分13秒27
女子走幅跳	棄権 丸山 真琴 (1年 米沢三) 足の怪我で不参加
置賜地区新人陸上競技大会 22年8月28日・29日【米沢市営陸上競技場】	
男子100m	決勝2位 江口 悠貴 (1年 米沢三) 11秒51 (-1.1) 予選11秒44 (-0.2) 決勝3位 芳賀 優亮 (1年 米沢一) 11秒62 (-1.1) 決勝5位 長谷川 涼 (2年 川西一) 11秒79 (-1.1) 予選11秒56 (+1.8) 自己新
男子200m	決勝3位 高橋 尚展 (1年 米沢三) 23秒35 (+1.0) 決勝4位 長谷川 涼 (2年 川西一) 23秒36 (+1.0) 決勝6位 我妻 誉浩 (1年 米沢一) 24秒12 (+1.0)
男子400m	決勝1位 鳥貫 大貴 (2年 高島一) 50秒97 自己新 決勝2位 高橋 尚展 (1年 米沢二) 52秒27 自己新
男子800m	総合1位 鳥貫 大貴 (2年 高島三) 2分01秒87 (2組1位) 総合2位 安部 斗夢 (1年 小国) 2分03秒08 (1組1位) 総合3位 菅井 大地 (1年 米沢一) 2分04秒33 (3組1位)
男子1500m	決勝総合1位 安部 斗夢 (1年 小国) 4分14秒16 2組1位 決勝総合10位 菅井 大地 (1年 米沢一) 4分21秒97 1組7位 決勝総合14位 情野 神 (1年) 4分32秒57 2組6位
男子5000m	決勝1位 高橋 郁人 (2年 南原) 16分29秒87
男子100mH	決勝1位 江口 悠貴 (1年 米沢三) 15秒93 (-0.7) 決勝2位 相馬 彪土 (2年 川西一) 16秒59 (-0.7) 決勝5位 板垣 善博 (1年 米沢三) 20秒51 (-0.7)
男子400mH	決勝1位 相馬 彪土 (2年 川西一) 56秒91 自己新
男子3000mSC	決勝6位 高橋 椋 (1年 米沢四) 10分45秒28
男子5000mw	決勝1位 青野 潤紀 (2年 高島三) 28分59秒03
男子400mR (タイムレース2組)	総合1位 九里 (長谷川・安達・芳賀・江口) 43秒87
男子1600mR (タイムレース2組)	総合1位 九里 (高橋・相馬・安部・鳥貫) 3分26秒66
男子走幅跳	決勝3位 安達 恭平 (1年 長井北) 6m09 (+1.1) 決勝6位 芳賀 優亮 (1年 米沢一) 6m05 (+-0)
男子三段跳	決勝2位 安達 恭平 (1年 長井北) 12m39 (+0.6)
男子砲丸投	決勝1位 金子 堯宙 (2年 高島一) 13m96 自己新 決勝5位 佐藤 俊介 (1年 高島一) 9m22 自己新 決勝8位 田中 昇吾 (1年 米沢五) 8m47 自己新
男子円盤投	決勝1位 金子 堯宙 (2年 高島一) 39m39 決勝5位 佐藤 俊介 (1年 高島一) 24m57
男子ハンマー投	決勝4位 田中 昇吾 (1年 米沢五) 26m46 初出場
女子100m	決勝2位 佐藤 愛 (2年 米沢六) 12秒82 (-1.3) 自己新 決勝8位 外山 佳奈 (2年 米沢五) 13秒73 (-1.3) 予選13秒68 (+0.8) 予選4位 高梨 千明 (1年 赤湯) 14秒03 (+0.2)
女子200m	決勝2位 佐藤 愛 (2年 米沢六) 27秒27 (+0.9) 予選27秒00 (+1.3) 自己新 決勝4位 外山 佳奈 (2年 米沢五) 27秒99 (+0.9) 自己新 予選6位 丸山 真琴 (1年 米沢三) 28秒92 (+1.3) 初出場
女子400m	決勝1位 長谷川智子 (2年 白鷹東) 62秒28
女子800m	決勝1位 長谷川智子 (2年 白鷹東) 2分25秒01
女子1500m	15名出場 決勝1位 高橋 七海 (1年 長井南) 4分44秒66 決勝2位 山口美里樹 (2年 米沢四) 4分52秒11
女子3000m	決勝1位 高橋 七海 (1年 長井南) 9分57秒59 自己新 決勝2位 山口美里樹 (2年 米沢四) 10分40秒39
女子100mH	決勝1位 遠藤 翠 (2年 長井南) 16秒72 (-0.6) 決勝2位 高梨 千明 (1年 赤湯) 17秒36 (-0.6)
女子400mH	決勝1位 遠藤 翠 (2年 長井南) 69秒37
女子走幅跳	決勝2位 丸山 真琴 (1年 米沢三) 4m39 (+1.3)
女子400mR	決勝1位 九里 (外山・長谷川・高梨・佐藤) 51秒94
女子1600mR	決勝1位 九里陸上 (遠藤・高橋・山口・長谷川) 4分12秒83

陸上競技部	<p>置賜陸上競技選手権大会 平成22年10月30日【米沢市営】</p> <p>一般男子1000M(出場38名) 決勝2位 鳥貫 大貴(2年 高畠三) 11秒65(-0・1) 準決勝11秒56(-2・1) 自己新 決勝5位 芳賀 優亮(1年 米沢一) 11秒79(-0・1) 準決勝11秒67(-2・1) 決勝7位 高橋 尚展(1年 米沢三) 11秒91(-0・1) 予選 11秒68(-2・8) 決勝8位 我妻 誉浩(1年 米沢一) 11秒97(-0・1) 予選 11秒86(-0・6) 準決5位 長谷川 涼(2年 川西一) 11秒98(-2・1) 予選 11秒88(-1・2) 準決7位 安達 恭平(1年 長井北) 12秒09(-2・1) 予選 11秒97(-2・8) 予選4位 相馬 彪土(2年 川西一) 12秒22(-1・2)</p> <p>一般男子1500M(出場23名) 決勝2位 安部 斗夢(1年 小 国) 4分18秒63(1位は社会人4分12秒20) 決勝3位 菅井 大地(1年 米沢一) 4分21秒54(自己新)</p> <p>一般男子5000M(出場30名) 決勝7位 高橋 郁人(2年 南 原) 16分14秒87(自己新) 1位 2位 3位 5位は社会人 1位 15分05秒73 決勝12位 高橋 椋(1年) 16分33秒99(自己新) 決勝19位 情野 神(1年) 17分29秒14</p> <p>一般男子走幅跳(出場15名) 決勝3位 安達 恭平(1年 長井北) 6m11(-0・6) 怪我治るもスピード不足。</p> <p>高校男子円盤投(出場15名) 決勝1位 金子 堯宙(2年 高畠一) 40m75(自己新) 決勝4位 佐藤 俊介(1年 高畠一) 25m45(自己新) 決勝6位 田中 昇吾(1年 米沢五) 25m12(自己新)</p> <p>一般女子1000M(出場14名) 決勝1位 柿崎 美里(3年) 12秒77(-0・3) 決勝3位 佐藤 愛(2年 米沢六) 13秒20(-0・3) 決勝7位 外山 佳奈(2年 米沢五) 13秒96(-0・3) 予選5位 高梨 千明(1年 赤 湯) 14秒36(-1・4) 予選5位 遠藤 翠(2年 長井南) 14秒81(-0・2)</p> <p>一般女子800M(出場3名) 決勝1位 長谷川智子(2年 白鷹東) 2分27秒96</p> <p>一般女子3000M(出場7名) オープン参加中学生2名 決勝1位 山口美里樹(2年 米沢四) 10分19秒65(自己新)</p> <p>一般女子走り幅跳(出場6名) 決勝1位 丸山 真琴(1年 米沢三) 4m44(0・0)</p> <p>東日本女子駅伝競争大会 10月14日 3区3キロM 高橋七海(1年 長井南) 10分40秒 山形県チーム</p> <p>県女子駅伝大会 10月21日 1区5・8キロM 高橋 七海(1年 長井南) 18分48秒 区間10位 西置賜チーム 5区5・3キロM 山口美里樹(2年 米沢四) 19分35秒 区間5位 米沢チーム</p> <p>都道府県対抗女子駅伝競走大会 1月16日 県代表メンバー入り 高橋 七海(1年 長井南)</p> <p>山形県高等学校駅伝競争大会 平成22年10月23日(長井市) 男子 10位 2時間25分12秒11 高橋 郁人(2年 南 原)(区間12位) 34:27 菅井 大地(1年 米沢一)(区間9位) 9:55 廣瀬 七生(3年 山形四)(区間13位) 28:03 安部 斗夢(1年 小 国)(区間14位) 28:14 鳥貫 大貴(2年 高畠三)(区間11位) 11:03 高橋 椋(1年 米沢四)(区間5位) 16:46 佐藤 広樹(3年 山形六)(区間10位) 16:44 女子 6位 1時間19分13秒12 高橋 七海(1年 長井北)(区間9位) 22:18 大丸 芽美(3年 野辺地)(区間8位) 16:05 長谷川智子(2年 白鷹東)(区間6位) 11:20 遠藤 翠(2年 長井南)(区間7位) 11:22 山口美里樹(2年 米沢四)(区間3位) 18:08</p> <p>山形県 冬期ロードレース 1月30日 女子5kmの部 3位 17:29 高橋 七海(1年 長井南) 22位 18:34 山口美里樹(2年 米沢四)</p> <p>高校男子10kmの部 32位 34:03 高橋 郁人(2年 南 原) 33位 34:08 佐藤 広樹(3年 山形六) 44位 34:46 安部 斗夢(1年 小 国) 菅井 大地(1年 米沢一) 情野 神(1年 米沢二) 高橋 椋(1年 米沢四)</p> <p>※惜しくも時間制限により完走できず、7kmで終わる。</p>
-------	--

卓球部

齋藤健太郎(1年 高島一) 玉虫 毅行(1年 米沢六)

団体戦 優勝

2回戦 九里学園 3-0 米沢工業

準決勝 九里学園 3-0 長井

決勝 九里学園 3-0 米沢中央

県大会出場

個人戦 シングルス

優勝 左右田和馬(2年 長井北) 2位 遠藤 駿介(2年 飯 豊)

ベスト8 柏倉 芳樹(2年 米沢七) 伊藤 耕平(2年 飯 豊) 加藤 琢也(2年 米沢四) 鈴木 信貴(1年 喜多方三)

ベスト16 齋藤 雄(1年 川西一) 以上県大会出場

3回戦敗退 齋藤 正人(2年 米沢五) 田 征陽(1年 米沢五) 齋藤健太郎(1年 高島一)

2回戦敗退 鈴木 大登(1年 米沢六) 1回戦敗退 玉虫 毅行(1年 米沢六)

出場者(女子)

大滝 幹実(2年 長井南) 片桐 碧美(2年 高島二) 小泉 七海(2年 飯 豊) 内海 利保(2年 喜多方二) 布施友莉恵(2年 米沢二)

長沼 香苗(2年 米沢四) 田中 紗知(2年 南 原) 姜 暁旭(2年 中 国) 金岡 里奈(2年 米沢四) 八幡 恵(1年 赤 湯)

種部 未希(1年 米沢五) 志賀 愛莉(1年 南 原) 塩川裕佳里(1年 川西一) 高橋 舞(1年 川西一)

団体戦 優勝

2回戦 九里学園 3-1 米沢商業

準決勝 九里学園 3-1 米沢東

決勝 九里学園 3-2 長井工業

以上県大会出場

個人戦 シングルス

優勝 姜 暁旭(2年 中 国) 2位 大滝 幹実(2年 長井南) 3位 内海 利保(2年 喜多方二) 八幡 恵(1年 赤 湯)

ベスト8 片桐 碧美(2年 高島二) 3回戦敗退 田中 紗知(2年 南 原) 長沼 香苗(2年 米沢四)

小泉 七海(2年 飯 豊) 以上県大会出場

2回戦敗退 布施友莉恵(2年 米沢二) 志賀 愛莉(1年 南 原)

1回戦敗退 金岡 里奈(2年 米沢四) 高橋 舞(1年 川西一) 種部 未希(1年 米沢五) 塩川裕佳里(1年 川西一)

22年度全日本選手権大会一般の部 10月30日(土)~31日(日)【河北町民体育館】

出場者(男子)

伊藤 耕平(2年 飯 豊) 遠藤 駿介(2年 飯 豊) 加藤 琢也(2年 米沢四) 柏倉 芳樹(2年 米沢七) 左右田和馬(2年 長井北)

鈴木 信貴(1年 喜多方三)

個人戦 シングルス

ベスト16 遠藤 駿介

4回戦敗退 左右田和馬(2年 長井北)

3回戦敗退 伊藤 耕平(2年 飯 豊)

2回戦敗退 加藤 琢也 柏倉 芳樹 鈴木 信貴

個人戦 ダブルス

3回戦敗退 伊藤 耕平(2年 飯 豊)・遠藤 駿介(2年 飯 豊)組

左右田和馬(2年 長井北)・鈴木 信貴(1年 喜多方三)組

出場者(女子)

大滝 幹実(2年 長井南) 片桐 碧美(2年 高島二) 小泉 七海(2年 飯 豊) 内海 利保(2年 喜多方二) 布施友莉恵(2年 米沢二)

八幡 恵(1年 赤 湯)

個人戦 シングルス

ベスト8 片桐 碧美(2年 高島二)

3回戦敗退 小泉 七海(2年 飯 豊)

2回戦敗退 内海 利保(2年 喜多方二)

1回戦敗退 大滝 幹実(2年 長井南) 八幡 恵(1年 赤 湯) 布施友莉恵(2年 米沢二)

個人戦 ダブルス

3回戦敗退 八幡 恵(1年 赤 湯) 大滝 可琳(3年 米沢四)組

2回戦敗退 大滝 幹実(2年 長井南) 片桐 碧美(2年 高島二)組

平成22年度東京選手権大会(全国大会) 山形県予選会 12月12日(日)【河北町民体育館】

出場者

姜 暁旭(2年 中 国) 片桐 碧美(2年 高島二) 小泉 七海(2年 飯 豊) 内海 利保(2年 喜多方二) 八幡 恵(1年 赤 湯)

梁 宏博(3年 中 国) 伊藤 耕平(2年 飯 豊) 遠藤 駿介(2年 飯 豊) 左右田和馬(2年 長井北)

女子シングルス

6位 姜 暁旭

ベスト16 片桐 碧美(2年 高島二)

2回戦敗退 内海 利保(2年 喜多方二) 八幡 恵(1年 赤 湯)

1回戦敗退 小泉 七海(2年 飯 豊)



<p>卓 球 部</p>	<p>女子ダブルス 優勝 姜 暁旭 (2年 中国)・高梨 真依 (谷地高) 組 東京選手権大会出場</p> <p>男子シングルス 3回戦敗退 梁 宏博 (3年 中国) 遠藤 駿介 (2年 飯 豊) 2回戦敗退 伊藤 耕平 (2年 飯 豊) 左右田和馬 (2年 長井北)</p> <p>男子ダブルス 3位 梁 宏博 (3年 中国)・井上 拓郎 (九里コーチ) 組 2回戦敗退 遠藤 駿介 (2年 飯 豊)・左右田和馬 (2年 長井北) 組</p> <p>22年度全国高校選抜大会東北ブロック予選 2月3～6日【岩手県北上市 北上市総合体育館】</p> <p>第一試合 九里学園 1対3 帝京安積 1. 加藤 0-3 原田 2. 左右田 3-2 平岡 D左右田 原田 遠藤 2-3 伊藤 4. 伊藤 0-3 坂本</p> <p>第二試合 九里学園 2-3 古川学園 1. 左右田 3-2 平山 2. 加藤 0-3 鈴木 D 左右田 平山 遠藤 3-2 鎌田 4. 遠藤 2-3 鎌田 5. 伊藤 0-3 川畑</p> <p>第三試合 九里学園 2-3 水沢高校 1. 左右田 3-2 菊地 2. 加藤 0-3 大槻 D 左右田 大槻 遠藤 2-3 佐々木 4. 伊藤 3-2 八重樫 5. 加藤 0-3 佐々木</p> <p>第四試合 九里学園 0-3 秋田商業 1. 左右田 2-3 原田 2. 伊藤 2-3 和泉 D 左右田 原田 遠藤 2-3 近藤</p> <p>第五試合 九里学園 2-3 弘前実業 1. 左右田 3-2 山谷 2. 伊藤 1-3 小山内 D 左右田 山谷 遠藤 3-2 相馬 4. 遠藤 2-3 相馬 5. 加藤 0-3 木村</p> <p>団体メンバー 2年生 伊藤 耕平 (飯豊中) 遠藤 駿介 (飯豊中) 左右田和馬 (長井北) 加藤 琢也 (米沢四) 柏倉 芳樹 (米沢七) 齋藤 正人 (米沢五) 1年生 齋藤 雄 (川西一) 志田 征陽 (米沢五) 監 督 荒井 雄介</p>
<p>バドミントン部</p>	<p>平成22年度 山形県高等学校新人体育大会バドミントン競技 平成22年11月6日(土)【山形市総合スポーツセンター】</p> <p>女子 団体 1回戦 鶴岡南高校 1-3で負け</p> <p>メンバー 伊藤 舞弥 (2年 米沢二) 佐藤 綾奈 (2年 米沢五) 八巻 有利 (2年 高島三) 時田 真優 (2年 赤湯中) 木村 真菜 (1年 米沢二) 工藤奈々美 (1年 米沢三)</p> <p>個人戦ダブルス 1回戦 伊藤 舞弥 (2年 米沢二)・佐藤 綾奈 (2年 米沢五) 0-2 (鶴岡北) 田村・井上</p> <p>平成22年度 秋季置賜地区高校総合体育大会バドミントン競技 平成22年9月11日(土)12日(日)【米沢市市営体育館】</p> <p>男子メンバー 根津 由輝 (1年 米沢三) 情野 智洋 (1年 米沢五) 武田 直也 (1年 高島二) 佐久間昭典 (1年 米沢七) 加藤 優一 (1年 米沢二) 八巻 達也 (1年 米沢七) 渡邊 貴謙 (1年 米沢四) 長岡 優綺 (1年 米沢三)</p> <p>女子メンバー 伊藤 舞弥 (2年 米沢二) 佐藤 綾奈 (2年 米沢五) 八巻 有利 (2年 高島三) 時田 真優 (2年 赤 湯) 木村 真菜 (1年 米沢二) 工藤奈々美 (1年 米沢三)</p> <p>団体戦 男子1回戦敗退 対 南陽高校 0-3 敗者復活戦 対 長井高校 0-3 結果8位 女子 準優勝 県大会出場</p> <p>1回戦 対 米沢商業 3-2 2回戦 対 米沢興譲館 3-2 決勝 対 長井高校 3-0</p> <p>個人戦ダブルス 男子1回戦 渡邊・長岡 1-2 須貝・松隈 (米沢東) 情野・佐久間 シード 加藤・武田 シード 根津・八巻 シード 男子2回戦 情野・佐久間 0-2 加藤・島貫 (長井)</p> <p>個人戦シングルス 男子1回戦 武田 0-2 樋渡 (興譲館) 八巻 0-2 緒形 (長井) 加藤 0-2 海和 (米沢東) 佐久間 シード 情野 シード</p>




バドミントン部	加藤・武田 0-2 小野塚・樋渡 (興譲館)	男子2回戦 佐久間 0-2 矢作 (米沢東)	
	根津・八巻 1-2 伊藤・佐藤 (米沢工業)	情野 0-2 小野塚 (興譲館)	
	女子1回戦 時田・工藤 2-0 内谷・坂野 (荒砥)	女子1回戦 時田 0-2 沼澤 (長井)	
	伊藤・佐藤 2-0 奥村・小関 (長井)	佐藤 シード	
	八巻・木村 2-0 島貫・後藤 (米沢東)	木村 シード	
	女子2回戦 時田・工藤 0-2 安部・大河原 (長井)	伊藤 シード	
	伊藤・佐藤 2-0 大河原・永井 (興譲館)	八巻 0-2 永井 (興譲館)	
	八巻・木村 0-2 中山・小関 (興譲館)	女子2回戦 時田 0-2 小関 (興譲館)	
	女子3回戦 伊藤・佐藤 2-0 佐藤・大橋 (米沢工業)	佐藤 0-2 鈴木 (南陽)	
	準決勝 伊藤・佐藤 0-2 安部・大河原 (長井)	木村 2-0 坂野 (荒砥)	
	3位決定戦 伊藤・佐藤 0-2 中山・小関 (興譲館)	伊藤 2-0 上村 (米沢商業)	
	3位県大会出場	女子3回戦 木村 0-2 大河原 (長井)	
		伊藤 2-0 大戸 (米沢東)	
		女子4回戦 伊藤 0-2 安部 (長井)	
		代表決定戦 伊藤 1-2 西村 (米沢東)	
	平成22年度 置賜地区選手権1年生大会バドミントン競技兼県選手権1年生大会地区予選会 平成22年10月9日 (土)		
	男子 団体 準優勝 県大会に出場できます。		
	1回戦 興譲館 1-2で勝ち		
	2回戦 米沢工業 1-2で勝ち		
	決勝 米沢東 2-1で負け		
	メンバー		
	根津 由輝 (1年 米沢三) 武田 直也 (1年 高畠二) 情野 智洋 (1年 米沢五) 加藤 優一 (1年 米沢二) 長岡 優綺 (1年 米沢三)		
	渡邊 貴謙 (1年 米沢四) 八巻 達也 (1年 米沢七) 佐久間昭典 (1年 米沢七)		
	男子シングルスⅡ部		
	1回戦 情野 智洋 0-2で負け 高橋 直道 (長井高)		
	加藤 優一 2-0で勝ち 鈴木 瞭太 (荒砥)		
	佐久間昭典 2-0で勝ち 渋谷 光司 (荒砥)		
	武田 直也 0-2で負け 遠藤 広輝 (米工)		
	2回戦 加藤 優一 2-0で勝ち 遠藤 健史 (長井工業)		
	佐久間昭典 0-2で負け 齋藤 大地 (興譲館)		
3回戦 加藤 優一 2-0で勝ち 高橋 伸八 (南陽)			
女子シングルスⅡ部			
1回戦 工藤奈々美 (1年 米沢三) 2-0 島津 智美 (南陽)			
木村 真菜 (1年 米沢二) 2-0 綿貫あかり (興譲館)			
2回戦 工藤奈々美 2-1 龍 美涼 (長井)			
木村 真菜 2-0 嘉藤 夏未 (米商)			
3回戦 工藤奈々美 0-2 伊藤 結香 (米商)			
木村 真菜 2-0 島貫 美香 (米東)			
4回戦 木村 真菜 2-0 吉田 沙也佳 (米商) 準決勝			
決勝 木村 真菜 0-2 後藤 晴香 (南陽) 準優勝でした。			
平成22年度ジャワ杯山形県高等学校バドミントン大会 平成22年11月23日 (火) 【山形県体育館】			
男子 団体			
1回戦 山形東高校 1-2で負け			
メンバー			
根津 由輝 (2年 米沢三) 武田 直也 (2年 高畠二) 情野 智洋 (2年 米沢五) 佐久間昭典 (2年 米沢七) 第2シングル			
加藤 優一 (1年 米沢二) 第1シングル 渡邊 貴謙 (1年 米沢四) ダブルス 長岡 優綺 (1年 米沢三) ダブル			
第20回置賜地区高等学校対抗バドミントン団体選手権 (麻屋杯) 平成22年12月12日 (日)			
九里学園高等学校体育館			
男子 団体			
A1回戦 興譲館平間家 1-2で勝ち 予選E組 2位			
B1回戦 なんちゃって南陽 3-0で負け 予選F組 4位			
メンバー			
A.I love 九里、、、とみ先生チーム			
根津 由輝 (1年 米沢三) 武田 直也 (1年 高畠二) 情野 智洋 (1年 米沢五) 加藤 優一 (1年 米沢二)			
B.歓呼九里チーム			
渡邊 貴謙 (1年 米沢四) 長岡 優綺 (1年 米沢三) 佐久間昭典 (1年 米沢七) 高木 友朗 (1年 米沢二)			
来次 桃悟 (1年 米沢二)			
第20回麻屋杯置賜地区高等学校対抗バドミントン団体選手権 12月12日 (日) 【九里学園高校体育館】			
大会参加メンバー (女子)			
団体選手			
ユリッカーズ (2年)			
伊藤 舞弥 (2年 米沢二) 佐藤 緞奈 (2年 米沢五) 八巻 有利 (2年 高畠三) 時田 真優 (2年 赤湯)			
くにより♥ (1年)			
木村 真菜 (1年 米沢二) 工藤奈々美 (1年 米沢三) 長沼香央留 (1年 川西一) 大河原詩歩 (1年 川西一)			
ふあいぶでぶ♥ (3年)			
平田あゆみ (3年 米沢二) 黒田紗恵子 (3年 米沢四) 後藤 清奈 (3年 米沢四) 相田ちひろ (3年 米沢六)			
結果 2位:ユリッカーズ 3位:ふあいぶでぶ♥			


<p>バドミントン部</p>	<p>第40回置賜バドミントン選手権大会 1月9日(土)～10日(日)【米沢市営体育館】 大会結果 大会参加メンバー (男子) 二部 加藤 尚寛 (3年 米沢三) 三部 武田 直也 (1年 高畠二) 加藤 優一 (1年 米沢二) 長岡 優綺 (1年 米沢三) 渡部 貴謙 (1年 米沢四) 情野 智洋 (1年 米沢五) 佐久間昭典 (1年 米沢七) 結果 三部シングルス 武田 直也 一回戦 0-2 神居 大輝 (米沢ジュニア) 加藤 優一 一回戦 2-0 牛沢 晃太 (長井JSC) 二回戦 1-2 舟山 悠太 (米沢ジュニア) 長岡 優綺 一回戦 0-2 遠藤 雅史 (白沼) 渡部 貴謙 一回戦 0-2 山本龍弥 (米沢二) 三部ダブルス 渡部 貴謙・長岡 優綺 一回戦 2-0 遠藤 雅史・佐藤 鷹哉 (白沼) 二回戦 0-2 海和 雄亮・舟山 悠太 (米沢ジュニア) 情野 智洋・佐久間昭典 一回戦 0-2 情野 利光・伊藤 千紘 (米沢工業)</p> <p>第40回置賜バドミントン選手権大会 1月9(土)～1月10日(日)【米沢市営体育館】 大会結果 大会参加メンバー (女子) 一部 伊藤 舞弥 (2年 米沢二) 佐藤 緩奈 (2年 米沢五) 二部 八巻 有利 (2年 高畠三) 時田 真優 (2年 赤湯) 平田あゆみ (2年 米沢二) 黒田紗恵子 (2年 米沢四) 三部 木村 真菜 (1年 米沢二) 工藤奈々美 (1年 米沢三) 結果 一部シングルス 伊藤 舞弥 一回戦 2-0 中山由香子 (興譲館) 二回戦 0-2 後藤香朱美 (米沢ダイヤエレクトロニクス) 佐藤 緩奈 一回戦 2-0 大戸 純奈 (米沢東) 二回戦 0-2 原茜 (城北) 二部シングルス 八巻 有利 一回戦 2-0 工藤早矢奈 (米沢東) 二回戦 0-2 青木 望 (HIS) 時田 真優 一回戦 1-2 渡部 微咲 (米沢商業) 平田あゆみ 一回戦 2-0 梅津 裕子 (長井ジュニア) 二回戦 2-0 寒河江莉奈 (南陽) 三回戦 0-2 高橋 明帆 (HIS) 黒田紗恵子 一回戦 0-2 安部 美咲 (米沢ジュニア) 三部シングルス 木村 真菜 一回戦 2-1 戸田 綾音 (米沢商業) 二回戦 0-2 三上 菜月 (米沢南部JBC) 工藤奈々美 一回戦 1-2 遠藤 紅音 (白沼) 一部ダブルス 伊藤 舞弥・佐藤 緩奈 一回戦 0-2 安部沙希子・長谷川和音 (長井) 二部ダブルス 八巻 有利・時田 真優 一回戦 2-1 千葉 織江・長井 花旺 (興譲館) 二回戦 0-2 佐藤典子・鈴木恵美子 (アイリス) 平田あゆみ・黒田紗恵子 一回戦 2-0 渡部 有望 (小林香料)・石沢 紗羅 (エンジェル) 二回戦 1-2 安部 美咲・高橋 紅亜 (米沢ジュニア) 三部ダブルス 木村 真菜・工藤奈々美 一回戦 0-2 戸田 綾音・嘉藤 夏未 (米沢商業)</p> <p>第3回山形県高校生あすなろバドミントン大会 平成23年2月13日(日)【山形県体育館】 男子 ダブルス 情野 智洋・佐久間昭典 組 予選リーグ1勝5敗 7位 シングルス 武田 直也 予選リーグ2勝2敗 7位 女子 ダブルス 八巻 有利・時田 真優 組 予選リーグ1勝4敗 7位 シングルス 佐藤 緩奈 予選リーグ 4勝0敗 2位、決勝リーグ優勝 工藤奈々美 予選リーグ 3勝1敗 5位</p> <p>メンバー 武田 直也 (1年 高畠二) 情野 智洋 (1年 米沢五) 佐久間昭典 (1年 米沢七) 佐藤 緩奈 (2年 米沢五) 八巻 有利 (2年 高畠三) 時田 真優 (2年 赤湯中) 工藤奈々美 (1年 米沢三)</p>
<p>男子バスケット ボール部</p>	<p>H22年度置賜地区高等学校秋季総体バスケットボール競技 9月11日(土)～12日(日)【米沢商業高等学校】 2回戦 九里 133-46 米沢商業 準決勝 九里 98-78 長井工業 決勝 九里 86-94 米沢中央 結果 第二位 県大会出場 メンバー 直海 隆一 (2年 米沢一) 高橋 将太 (2年 米沢五) 太田 雅人 (2年 米沢五) 遠藤 駿 (2年 米沢七) 海老名 快 (2年 米沢二) 藤原拳史郎 (2年 米沢一) 鈴木 天智 (1年 米沢七) 佐原 一斗 (1年 高畠四) 大地 啓太 (1年 高畠四) 猪野 拓也 (1年 米沢三) 金子 敬右 (1年 米沢三) 小池 勇輝 (1年 米沢四) 佐藤 健寛 (1年 米沢一) 佐藤 千裕 (1年 米沢五) 大友 椋太 (1年 米沢二) 星沢 拓弥 (1年 高畠四)</p>



男子バスケット ボール部	<p>平成22年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技 11月6日(土)～7日(日)【山形中央高校】</p> <p>2回戦 九里 82-97 山形中央 ベスト16</p> <p>メンバー 直海 隆一(2年 米沢一) 高橋 将太(2年 米沢五) 太田 雅人(2年 米沢五) 遠藤 駿(2年 米沢七) 海老名 快(2年 米沢二) 藤原拳史郎(2年 米沢一) 佐原 一斗(1年 高畠四) 大地 啓太(1年 高畠四) 猪野 拓也(1年 米沢三) 金子 敬右(1年 米沢三) 小池 勇輝(1年 米沢四) 佐藤 健寛(1年 米沢一) 佐藤 千裕(1年 米沢五) 星沢 拓弥(1年 高畠四)</p> <p>平成22年度置賜地区高等学校バスケットボール冬季リーグ戦 2月5日(土)～6日(日)【九里学園高等学校】</p> <p>1部リーグ戦 九里 75-73 長井工業 九里 67-61 興譲館 九里 70-106 米沢中央 結果 2勝1敗 1部2位</p> <p>メンバー 直海 隆一(2年 米沢一) 高橋 将太(2年 米沢五) 太田 雅人(2年 米沢五) 遠藤 駿(2年 米沢七) 海老名 快(2年 米沢二) 藤原拳史郎(2年 米沢一) 佐原 一斗(1年 高畠四) 大地 啓太(1年 高畠四) 猪野 拓也(1年 米沢三) 金子 敬右(1年 米沢三) 小池 勇輝(1年 米沢四) 佐藤 健寛(1年 米沢一) 佐藤 千裕(1年 米沢五) 星沢 拓弥(1年 高畠四) 川上 巧平(1年 米沢二)</p>
女子バスケット ボール部	<p>置賜地区高等学校新人総合体育大会バスケットボール競技 平成22年9月11日～12日【米沢商業高校体育館】</p> <p>近野由莉香(高畠四) 山田 真耶(米沢一) 石井美沙樹(米沢五) 鈴木 里奈(米沢七) 片倉 綾花(米沢一) 市川 桜(米沢七) 斉藤 彩香(高畠四) 佐藤 愛海(米沢二) 清井 未来(米沢六) 大場 朱里(高畠二) 鈴木 未翔(長井北) 横井 梨可(小 国) 井上美穂乃(米沢五) 阿部明日香(米沢三) マネージャー 志田 佳蓮(米沢三)</p> <p>1回戦 米沢中央 勝ち 準決勝 米沢東 勝ち 決 勝 長井高 負け 結 果 第2位</p> <p>山形県高等学校新人総合体育大会バスケットボール競技 平成22年11月6日～7日【山形西高校体育館】</p> <p>近野由莉香(高畠四) 山田 真耶(米沢一) 石井美沙樹(米沢五) 鈴木 里奈(米沢七) 片倉 綾花(米沢一) 市川 桜(米沢七) 斉藤 彩香(高畠四) 佐藤 愛海(米沢二) 清井 未来(米沢六) 大場 朱里(高畠二) 鈴木 未翔(長井北) 横井 梨可(小 国) 井上美穂乃(米沢五) 阿部明日香(米沢三) マネージャー 志田 佳蓮(米沢三)</p> <p>2回戦 シード 2回戦 鶴岡北 66対52 負け(ベスト16)</p> <p>置賜地区高等学校バスケットボール冬季リーグ戦 平成23年2月5日～6日【米沢興譲館高校体育館】</p> <p>近野由莉香(高畠四) 山田 真耶(米沢一) 石井美沙樹(米沢五) 鈴木 里奈(米沢七) 片倉 綾花(米沢一) 市川 桜(米沢七) 斉藤 彩香(高畠四) 佐藤 愛海(米沢二) 清井 未来(米沢六) 大場 朱里(高畠二) 鈴木 未翔(長井北) 横井 梨可(小国) 井上美穂乃(米沢五) 阿部明日香(米沢三) マネージャー 志田 佳蓮(米沢三)</p> <p>女子1部リーグ 対 米沢東 96対50 勝ち 対 米沢商 80対64 勝ち 対 長井高 72対60 勝ち 結果 1部リーグ 3勝0敗 1位(優勝)</p>
女子バレーボール部	<p>平成22年度秋季高体連女子バレーボール大会兼第50回県高等学校バレーボール新人大会女子地区予選会 平成22年9月11日(土)、12日(日)【米沢中央高等学校 体育館】</p> <p>予選リーグ</p> <p>[第1試合] 九里学園 0 (6-25) 2 長井 (6-25)</p> <p>[第2試合] 九里学園 0 (8-25) 2 南陽 (5-25)</p> <p>[第3試合] 九里学園 0 (14-25) 2 米沢商業 (14-25)</p> <p>順位トーナメント</p> <p>[第1回戦] 九里学園 0 (13-25) 2 小国</p> <p>選手 根津 晶葉(1年 米沢三) 佐藤 結衣(1年 米沢一) 鈴木なつみ(1年 米沢三) 五十嵐ゆい(1年 米沢二) 今野 佑香(1年 川西一) 松田 光乃(1年 米沢二) 鈴木 悠花(1年 米沢二) 鹿俣 美葉(1年 米沢一)</p> <p>平成22年度冬季リーグ女子バレーボール大会 平成23年1月8日(土)、9日(日)【長井高等学校 体育館】</p> <p>予選リーグ 九里学園 0 (10-25) 2 米沢商業 (10-25)</p>



女子バレーボール部	<p>九里学園 0 (11-25) 2 置賜農業 (18-25)</p> <p>九里学園 0 (19-25) 2 荒砥 (12-25)</p> <p>順位トーナメント</p> <p>【第1試合】 九里学園 0 (20-25) 2 南陽 (11-25)</p> <p>選手</p> <p>根津 晶菜 (1年 米沢三) 佐藤 結衣 (1年 米沢一) 五十嵐ゆい (1年 米沢二) 今野 佑香 (1年 川西一) 松田 光乃 (1年 米沢二)</p> <p>鈴木 悠花 (1年 米沢二) 鹿俣 美菜 (1年 米沢一)</p> <p>平成22年度置賜地区高体連バレーボール女子1年生大会 平成22年11月14日(日)【米沢東高等学校体育館】</p> <p>【トーナメント】</p> <p>【第1試合】 九里学園 0 (12-25) 2 南陽 (19-25)</p> <p>【順位トーナメント】</p> <p>【第1回戦】 九里学園 0 (8-25) 2 長井工業・長井 連合 (11-25)</p> <p>【選手】</p> <p>根津 晶菜 (1年 米沢三) 佐藤 結衣 (1年 米沢一) 五十嵐ゆい (1年 米沢二) 今野 佑香 (1年 川西一) 松田 光乃 (1年 米沢二)</p> <p>鈴木 悠花 (1年 米沢二) 鹿俣 美菜 (1年 米沢一)</p>	
ソフトボール部	<p>県秋季大会 10月9日・10日【上山明新館高校】</p> <p>2回戦(準々決勝) 敗退 <ベスト8></p> <p>1回戦 九里 5-1 天童</p> <p>2回戦 九里 0-8 上山明新館</p> <p>地区秋季大会 9月11日・12日【南陽市向山ソフトボール場】</p> <p>1位</p> <p>1回戦 九里 3×-2 南陽(延長8回)</p> <p>決勝戦 九里 4-1 米沢東</p> <p>県私学大会 10月23日(土)【山形学院高校】</p> <p>4位</p> <p>1回戦 九里 15-5 山形城北</p> <p>準決勝 九里 2-6 東海大山形</p> <p>3位決定戦 九里 4-12 山形学院</p> <p>ベンチ入りメンバー</p> <p>大野 真依(2年 高島二) 佐野麻祐子(2年 米沢二) 金子 亜未(2年 高島二) 青木優希子(2年 米沢二) 高橋 由佳(2年 米沢二)</p> <p>高橋 楓(2年 高島二) 鈴木 若奈(1年 米沢一) 下島 清楓(1年 高島二) 佐藤 沙織(1年 赤湯) 今野みやび(1年 高島一)</p> <p>伊藤 由紀(1年 米沢三) 高橋 奈々(1年 宮内) 伊藤 千晶(1年 南原) 高橋 葉(1年 宮内) 門間 正美(1年 米沢三)</p> <p>樋口 愛美(1年 沖郷) 菅野 桃子(1年 宮内) マネージャー</p>	
サッカー部	<p>全国高校サッカー選手権大会山形県大会戦結果</p> <p>1回戦 vs 新庄東 0-1 初戦敗退</p> <p>出場選手</p> <p>遠藤 拓也(3年 米沢一) 吉田 昂平(3年 米沢一) 長部 翔矢(3年 南原) 杉本 豪(3年 南原) 遠藤 拓真(2年 米沢二)</p> <p>平 龍希(2年 米沢三) 古瀬 啓生(2年 米沢三) 井上 匠(2年 飯豊) 大原 勇(2年 米沢三) 松田 大地(1年 小国)</p> <p>多田 和樹(1年 米沢四) 保刈 智也(1年 米沢三) 安部 史哉(1年 米沢五) 菊地 翔(1年 川西一) 相田 峻佑(1年 高島四)</p> <p>山科 博紀(1年 米沢二)</p>	
弓道部	<p>地区新人大会 9月11日~12日【米沢市営武道館弓道場】</p> <p>女子団体 県大会出場権獲得ならず 女子個人 4位 2年 黒田詩織(米沢4中) 県大会出場権獲得</p> <p>男子団体 県大会出場権獲得ならず 男子個人 県大会出場権獲得ならず</p> <p>県新人大会 10月16日~17日</p> <p>女子個人 黒田 詩織(2年 米沢四) 予選敗退</p>	
スキー部	<p>山形県高等学校スキー大会</p> <p>10kmフリー競技</p> <p>大丸 芽美 2位 近田 沙稀 8位 鳥貫なつみ 15位</p> <p>5kmクラシカル競技</p> <p>大丸 芽美 2位 近田 沙稀 7位 鳥貫なつみ 15位</p> <p>女子リレー競技 3位</p> <p>山形県総合体育スキー大会</p> <p>10kmフリー競技</p>	

スキー部	<p>大丸 芽美 2位 近田 沙稀 10位 島貫なつみ 15位 5kmクラシカル競技 大丸 芽美 6位 近田 沙稀 12位 島貫なつみ 15位 女子リレー競技 3位 東北高等学校スキー選手権大会 5kmフリー競技 大丸 芽美 優勝 近田 沙稀 24位 島貫なつみ 41位 リレー競技 6位 全国高等学校スキー大会 10kmフリー競技 大丸 芽美 32位 近田 沙稀 45位 島貫なつみ 82位 5kmクラシカル競技 大丸 芽美 48位 近田 沙稀 37位 島貫なつみ 90位 女子リレー競技 16位</p>	
文化系部活動		
ダンス部	<p>「ニチイまつり」(9月)ニチイケアセンターにて演技披露 生涯学習フェスティバル「遊学よねざわ2010」(10月)米沢市営体育館にて演技披露 まほろばの里 高島ふるさとまつり(10月)よねおりかんこうセンターにて演技披露 第10回記念米沢おしょうしなハーフマラソン大会(10月)開会式にて演技披露および大会補助役員 上杉雪灯籠まつり(2月)ステージイベントにて演技披露 新人戦壮行式にて応援 部活動後援会にて演技</p>	
美術部	<p>第58回山形県高校美術展 第34回山形県高等学校総合文化祭 平成22年10月8日～10月10日【東根工業高校 体育館】 「審査員推薦」油彩画 F100号「Good morning call」 3年3組 山田 真理(米沢五)</p>	
演劇部	<p>第59回置賜地区高等学校演劇合同発表会 9月18日(土)・19日(日)【米沢市民文化会館】 優秀賞 第37回山形県高等学校演劇合同発表会 11月5日(金)～7日(日)【鶴岡市文化会館】 優良賞 「雨だって晴れだって」 作者 清田 真央(3年 米沢一) スタッフ 演出 清田 真央(3年 米沢一) 助演出 松崎 夏実(2年 米沢二) 舞台監督 五十嵐洋平(2年 高島二) 装置 五十嵐洋平 照明 渋谷 宇範(2年 米沢五) 音響 島貫 裕子(3年 川西二) 西京 美紅(1年 米沢五) 長瀬 玲捺(1年 米沢五) 衣装 松崎 夏実 西 夏美(1年 米沢一) 山田奈々恵(1年 米沢五) 小道具 青木 頌(1年 長井北) メイク 松崎 夏実 西 夏美 山田奈々恵 キャスト ヒロミ 松崎 夏実 レイコ 長瀬 玲捺 ユリ 西 夏美 サキ 清田 真央 ミチル 山田奈々恵 ブンタ 五十嵐洋平 カズミ 青木 頌 老婆 西京 美紅</p>	
文芸部	<p>8月 新聞部・イラストアニメ愛好会と合同で研修旅行(宮城県松島) 8月 山形県文芸コンクールに出品(入賞なし) 8月 九里祭にて展示 10月 山形県高等学校総合文化祭に参加 10月 置賜地区研修会に参加(写真ROO12081) 2月 同人誌「フラーズ」発行予定</p>	
新聞部	<p>5月 地区高校総体取材 号外新聞発行 8月 文芸部・イラストアニメ愛好会と合同で研修旅行(宮城県松島) 12月 置賜地区研修会を主宰(写真ROO12303) 2月 活版新聞発行(予定)</p>	
イラストアニメ愛好会	<p>4月より文芸部とコラボギャラリーを国語Cにて展示 8月 文芸部・新聞部と合同でスケッチ研修旅行(宮城県松島)を主宰。(写真ROO11855) 8月 九里祭にてイラスト展</p>	

吹奏楽	<p>第37回置賜地区アンサンブルコンテスト 平成22年12月19日(日)【高島町文化ホール「まほら」】</p> <p>金管八重奏(銀賞)</p> <p>新藤 茜(2年 米沢一) 二階堂可奈(2年 米沢四) 高橋 杏奈(2年 米沢三) 石田 裕子(2年 高島四) 渡邊 莉加(2年 米沢五)</p> <p>石塚 萌子(1年 米沢一) 桑原まどか(1年 米沢一) 鈴木 莉奈(1年 米沢二)</p> <p>木管六重奏</p> <p>渡部 実希(2年 米沢四) 塩野 絢(2年 川西一) 金子 奈央(2年 高島二) 笹原 有純(2年 米沢四) 鈴木 彩香(1年 長井南)</p> <p>鈴木 優実(1年 米沢五)</p>
JRC部	<p>4月 新入生青少年赤十字学習会</p> <p>5月 米沢上杉祭り 「ひろえば街が好きになる運動」 JT主催 ごみ拾い呼びかけ運動</p> <p>アフリカへ毛布を送る運動 地域の皆様とともに毛布の梱包</p> <p>地域ケアセンター東陽館春祭りボランティア 利用者の皆様とともに</p> <p>おやこ緑陰学級でのボランティア(米沢梓山)</p> <p>興望館(児童福祉施設)の子どもたちとの交流</p> <p>「花いっぱい運動」花植えボランティア</p> <p>6月 米沢市事業 芝桜を植樹 米沢ロータリークラブの皆様と共同作業</p> <p>ふるさとOMOIYARIプロジェクト2010(米沢)米沢市役所周辺 ゴミ拾い・ろうそくの点灯</p> <p>7月 ダメ・ゼツタイ 薬物乱用防止 募金活動</p> <p>8月 上杉御廟所 早朝作業草むしり</p> <p>米沢上杉クラブロータリークラブの皆様とともに</p> <p>青少年赤十字国際交流事業 韓国のJRCメンバーとの交流</p> <p>トレーニングセンター 山形花笠まつり参加</p> <p>インターアクト年次大会参加</p> <p>九里祭 展示 バザー開催</p> <p>バザーの収益金をアフリカザンビアへ</p> <p>9月 梓園(重度肢体障害者施設)夏祭り ボランティア</p> <p>興望館(児童福祉施設)</p> <p>運動会参加 米沢ロータリーアクトクラブと企画運営</p> <p>10月 米沢青年会議所主催</p> <p>「米沢まちづくりプロジェクト2010～歴史から広がるまちづくり～」ボランティア参加</p> <p>地域ケアセンター東陽館秋祭りボランティア</p> <p>米沢市社会福祉協議会主催 ボランティアフェスティバル</p> <p>万世福祉の里感謝祭りへの介助・補助・イベントボランティア</p> <p>12月 海外助け合い運動募金活動 ヨークベニマルにて</p> <p>1月 (日本赤十字社山形県支部とともに)</p> <p>2月 施設へクリスマスカード作り送付</p> <p>独居老人宅訪問 除雪ボランティア</p> <p>雪灯籠祭り 参加</p> <p>常時活動 九里幼稚園 訪問 月8回(毎週 月・木曜日)</p> <p>幼稚園の先生のお手伝い・掃除・教材作り</p>

編集後記

平成二十二年度も終わりに近づき、今年度の結果を整理していると大会中であつた数々のドラマが思い出される。華々しい結果もあつたけれどそれはほんの一部であり、ほとんどが苦しい結果に終わっていたのではないかと思う。

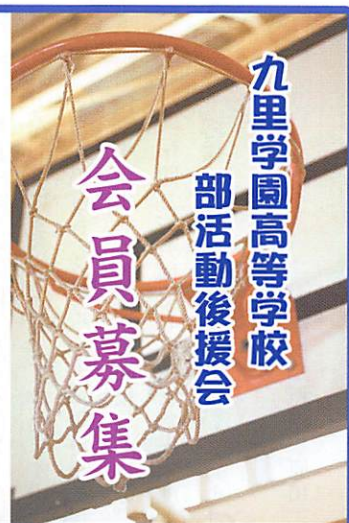
そしてあと一ヶ月もすれば雪がとけ、いよいよ新たなシーズンの開幕である。新入生が入り新体制となり、二年生は中心学年に。三年生は集大成として残り短いシーズンを戦っていく。春を前にして、今年は何だけやれるのか。と期待と不安に胸を躍らせている自分があるが、きつとどこの部活動の顧問も同じだと思う。

最後になりましたが、本校を応援してくださる会員の皆様。今年度の賜るご支援本当にありがとうございます。会員の皆様に感謝の気持ちを持ち、教職員・コーチ一同、更なる活発な活動をしていきたいと思っておりますので、これからも応援よろしく願いたします。また、各部活動の役員の皆様。一年間ご苦勞様でした。また来年度も応援・ご協力よろしく願いたします。

(担当 原田)

平成22年度 部活動後援会法人会員一覧 (敬称略順不同)

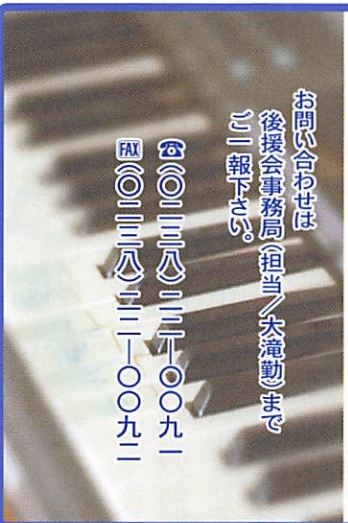
- | | | |
|-----------------|--------------|------------------|
| 相田建設(株) | 鈴木陽一建築設計事務所 | 平賀秋夫 |
| (有)滝ペン塗装 | (株)東北エコー | 佐藤せつ |
| 桑原豆腐店 | 山田電気管理事務所 | 上杉伯爵邸 |
| (有)サトウ内装 | 戸部電材米沢営業所 | (株)スズデン |
| 特急寿司 | 若月電気管理事務所 | 上杉城史苑 |
| (株)カクダイ本店 | (株)JTB東北山形支店 | 岡田電気産業(株) |
| (有)花のえちごや | (有)べにばな | 山形ニッタン(株) |
| (有)肉の加藤 | (株)仙台コココーラ | 伊藤 勉 |
| (株)高橋硝子店 | (有)ウエマツ | 山形電気保安管理(株) |
| 天元台 | (株)小泉創芸 | 今田良子 |
| 玉寿司 | 齋藤俊一税理士事務所 | 山形日産自動車(株) |
| 東家 | (株)タスクフーズ | (有)県南自動車整備工場 |
| 東京第一ホテル米沢 | ひかりフーズ | 県南自動車学校 |
| ホテルベネックス | (株)川島印刷 | (有)有坂保険 |
| (株)ニュー小原商店 | 福島カラー印刷(株) | 丹波館 |
| 山交観光(株)米沢営業所 | (株)エービーエム | 本田恒一 |
| (株)北宣 | (株)平山孫兵衛商店 | 楠 賢道 |
| イトウ防水工業(株) | (株)アクセス | (有)マルゼンスポーツ |
| (株)山岸板金工業所 | (有)キョウドウ印刷 | (平成二十三年二月二十三日現在) |
| (株)広工務店 | (株)山一酒販 | |
| 酪農中川健義 | (株)小島洋酒店 | |
| (株)マルコーエンジニアリング | 米沢酒類販売(株) | |
| 金沢清掃(有) | (株)小嶋総本店 | |



本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員
年会費 一〇三、〇〇〇円 (□数は問わず)
- 法人会費
年会費 一〇、〇〇〇円 (□数は問わず)

新規会員を募集しております。



お問い合わせは
後援会事務局(担当)大滝勲まで
☎一報下さい。

TEL 0113-2320091
FAX 0113-2320092